

山田美津代 議員

竹取公園の活性化を図るために

問 公園活性化委員会を広く公募して立ち上げ、若いお母さん方の斬新なアイデアなど生かしてみても？

以前せせらぎの水が流れていたのを復活したり、明治20年頃赤部で煎餅が売られていた物を作って、自然食でうまい物として売り出してみたらこの公園でしか食べられないおいしい煎餅と評判になるのでは？

平岡町長 例年かぐや姫まつりや靴下の市など賑わっている。来年の緑化フェアに向けて関係機関や専門家など協議して検討する。名物や目玉商品は住民の皆様の研究、検討をしていただけるよう町として応援、支援していきたい。

公共交通について

問 今試行運転中の元気号は評判が今一つ。交通弱者のお年寄りの意見など初めにお聞きして開始するべきだったのでは？ 停留所まで遠いという方もおられる。ドアツードアも

検討すべき。利用される方は病院、買い物、公共施設が多いので国保中央病院は900万円も支援金出しているのだから必ず通るように。

平岡町長 いろんな意見資料を収集中で便利が悪い人や感謝している人もおられる。貴重な声を従事した担当者の声をいかに活かすのか、これはご辛抱願うもの等に分類してまとめてまいりたい。

県のアスベスト調査終了する件について

問 今年で県の「石綿ばく露健康リスク調査事業」が終わり無料の検診を受けるため、沢や大野の住民の方に回覧等回して啓発すべきでは？ また、この後は町の責任でアスベスト対策をすべきでは？

平岡町長 住民への周知は広報やホームページ等が最も有効である。なお、万一アスベストによる健康被害にあわれた方には、国の救済制度により医療費や療養手当等の救済給付を受けることができるので町は協力を行うものです。

乾 浩之 議員

広陵元気号の途中経過と今後について

問 平成15年以降、相次いでバス路線が廃止され、通勤者やお年寄りの交通手段がなくなっています。人口約3万人の町で公共交通機関の弱体化は許されません。私は、コミュニティバス導入を提案、平成21年4月から予約型乗合自動車・広陵元気号が運転されています。その途中経過と高齢者への配慮を求めます。

平岡町長 4ヶ月の利用率は38.2%で厳しい意見もありますが、2ヶ月間で路線の拡大か予約制か、有料無料、運営主体、車輛、既存路線との整合性、補助制度等の課題をまとめ、高齢者の利便性を協議します。

箸尾地区だんじりの管理・補修について

問 箸尾地区の櫛玉比女命神社戸立祭では、4大字から伊勢音頭を唄いながらだんじりが繰り出され、大和平野の秋祭りの最後を飾る伝統行事として知られています。しかし、激しい動きにだんじりが破損すること

も多く、地元が補修・修理してきたものの限界があり、文化財保護の観点から補助の検討をお願いします。

理事者 戸立祭が古き良き伝統を受け継ぎ、だんじりを通じて地域が協調しており、江戸末期から明治初期のだんじりもあることから文化財として調査し、管理・補修について何らかの支援をするか検討したいと考えます。

